

北陸地方整備局

記者発表資料

発表日時

令和7年9月17日

クルーズ船寄港にあわせてシャトルバスを走らせます！ ～佐渡・両津港で実証事業を実施～

クルーズ船寄港時のバス等の不足により、乗客の満足度低下や経済効果拡大の機会損失に繋がっているという状況にあることから、北陸地方整備局では、二次交通の現地実証事業として、両津港に寄港予定のクルーズ船「飛鳥Ⅲ」の旅客を対象にシャトルバス等を運行します。

今後、二次輸送体制が確保されることにより、クルーズ船の寄港による佐渡地域全体への経済効果がさらに高まることが期待されています。

本現地実証事業は北陸地方整備局が計画し、「佐渡クルーズ船二次交通連絡会」※の意見を反映させて実施するものです。実証事業の効果については連絡会にて検証し、引き続き二次輸送体制の確保に向けた検討を進めて参ります。

※佐渡クルーズ船二次交通連絡会の詳細は参考資料3のとおり

1. 概要

- 目的 クルーズ船寄港時の二次交通の適切なルート、採算のとれる料金設定や経費配分、運行本数、経済効果等の検討
- 日時 令和7年9月20日(土) 10:00～15:50
- 場所 佐渡島内(詳細は別紙1(1)運行計画参照)
- 内容 各種モビリティの運行(別紙1のとおり)
- 対象船舶 船名:飛鳥Ⅲ※ 入港時間:8:00 出港時間:17:00
総トン数:52,200t 定員:740人 前港:函館港 次港:博多港
※飛鳥Ⅲは、今回が新潟県内への初寄港

2. 報道関係のみなさまへ

取材を希望される場合は、予め別紙2にてご登録の上、別紙1に示す車両待機エリア付近のテントにお越しください。お問い合わせは、平日8時30分から17時15分の間をお願いいたします。

同時発表記者クラブ
新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ
佐渡島内報道機関
専門紙

<問い合わせ先>

■現地実証事業について

北陸地方整備局 港湾空港部
クルーズ振興・港湾物流企画室長 水内(みずうち)
課長補佐 早田(わさだ)
TEL 025-370-6706

■現地実証事業における運行計画について

北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所
企画調整課長 内生蔵(うちうぞう)
TEL 025-222-6111

(1) 運行計画

運行時間	種別	区間	台数	備考
10:00 ～ 15:50	シャトルバス	あいぽーと佐渡（両津港） ～ トキの森公園	2台	参考資料1 参照
	グリーンスローモビリティ※	両津市街地周遊	2台	参考資料2 参照

※グリーンスローモビリティ: 時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービス

(2) 取材対応場所 両津港あいぽーと佐渡付近



佐渡クルーズ船二次交通対策実証事業
取 材 申 込 書

北陸地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室 あて
申込メールアドレス：pa.hrr-koudo84@gxb.mlit.go.jp
申込FAX番号：025-280-8783
申込期日：9月19日(金)12時

お名前
ご所属(会社名)
ご連絡先(電話番号)
ご連絡先(メールアドレス)

あいぼーと佐渡 ⇄ トキの森公園・両津港

無料往復シャトルバス

<ご利用方法>

下船場所付近のテント受付にて乗車用ストラップをお渡しいたします。ストラップは「トキの森公園」からご乗車の際の目印になりますので無くさないようお願いいたします。あいぼーと佐渡到着後に受付テントへ返却願います。

1便あたり
45人
定員
(先着順)

予約不要
運賃無料!

シャトルバス運行ルート



- ★ ★ シャトルバス目的地
- シャトルバス運行ルート(行き)
- シャトルバス運行ルート(帰り)

あいぼーと佐渡 ~ トキの森公園間を運行



時刻表

	あいぼーと佐渡	トキの森公園		両津港 佐渡汽船ターミナル	あいぼーと佐渡
	出発時間	到着時間	出発時間	到着時間	到着時間
①便	10:20	10:40	—	—	—
②便	10:40	11:00	11:30	11:46	11:50
③便	11:20	11:40	12:10	12:26	12:30
④便	12:00	12:20	12:50	13:06	13:10
⑤便	12:40	13:00	13:30	13:46	13:50
⑥便	13:20	13:40	14:10	14:26	14:30
⑦便	14:00	14:20	14:50	15:06	15:10
⑧便	—	—	最終便 15:30	—	15:50

※あいぼーと佐渡・トキの森公園乗車は先着順となります。定員に達した場合は次の便をご利用願います。※両津港佐渡汽船ターミナルでは降車のみ可能です。乗車はできません。※お好きな時間を選んでご乗車いただけます。※トキの森公園からの最終便は15:30となります。お乗り遅れないようにご乗車ください。

シャトルバス降車場所①

トキの森公園

協力費

大人:1人 500円

小人(小中学生):1人200円

券売機にお支払い願います。



シャトルバス
乗降場所



1 トキ資料展示館



2 トキふれあいプラザ



たくとく
とくさ
とくとく



3 飼育ケージ1



4 飼育ケージ2



5 石碑

6 佐渡トキ保護センター
※赤線の区域には
入れません

トキの森公園には、「トキ資料展示館」と「トキふれあいプラザ」があります。トキ資料展示館では、保護増殖、野生復帰の取り組みなどの資料を多数展示しており、観察回廊からは隣接する佐渡トキ保護センターのケージにいるトキを観ることができます。



詳しくはコチラ

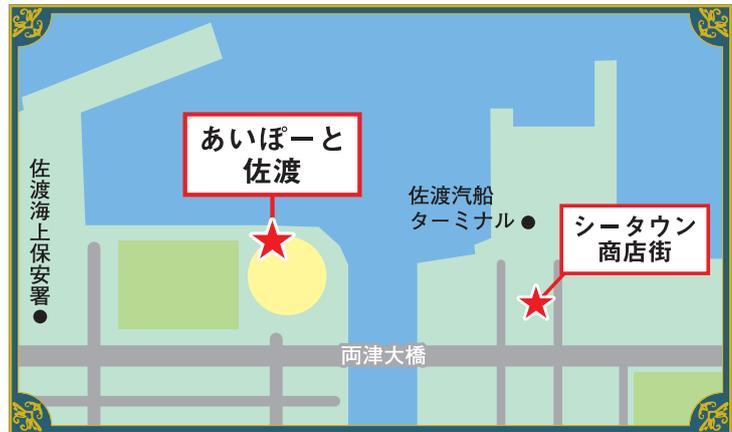
シャトルバス降車場所②

佐渡汽船ターミナル(シータウン商店街)

※両津港佐渡汽船ターミナルでは降車のみ可能です。乗車はできませんので、あいぼーと佐渡まで徒歩でお戻り願います。



あいぼーと佐渡から約500m(徒歩約7分)の両津港ターミナルに接続したショッピング街。地酒、海産物、銘菓、工芸品などの佐渡のおみやげが豊富にそろいます。



佐渡寄港地アンケートに
ご協力をお願いいたします。



運賃無料!
案内ガイド同乗!

両津地区を周遊運行!

グリーンスローモビリティ 【GSM】

GSMとは 時速20km未満で公道を走る環境にやさしい電気自動車です。

運賃 **無料** 予約不要

運行時間 10:00~15:15まで
※15分間隔で周遊運行

乗車方法

- ・下船場所付近のテントで受付いたします
- ・乗車目印用ストラップをお渡しいたしますのであいぽーと佐渡に帰着後、受付テントに返却願います
- ・途中、降車できるポイントが4カ所あります
- ・降車ポイント以外では途中下車できません
- ・途中乗車はできません

※降車ポイントで下車された後は各自であいぽーと佐渡までお戻り願います

佐渡寄港地アンケートにご協力をお願いいたします。



周遊ルートは裏面に記載しております

グリーンスローモビリティ 両津周遊運行 **時刻表** 運賃無料/予約不要

※各時刻は目安となります。

出発・到着場所
あいぽーと
佐渡



A 車両 (2人乗り) <あいぽーと佐渡 発着>

	出発	到着
①便	10:00	10:20
②便	10:30	10:50
③便	11:00	11:20
④便	11:30	11:50
⑤便	12:00	12:20
⑥便	12:30	12:50
⑦便	13:00	13:20
⑧便	13:30	13:50
⑨便	14:00	14:20
⑩便	14:30	14:50
⑪便	15:00	15:20

B 車両 (2人乗り) <あいぽーと佐渡 発着>

	出発	到着
①便	10:15	10:35
②便	10:45	11:05
③便	11:15	11:35
④便	11:45	12:05
⑤便	12:15	12:35
⑥便	12:45	13:05
⑦便	13:15	13:35
⑧便	13:45	14:05
⑨便	14:15	14:35
⑩便	14:45	15:05
⑪便	15:15	15:35

1台につき乗務員1名/案内ガイド1名乗車/お客様の定員は2名まで ※特設テント受付での先着順にご案内いたします。

◆1周=約20分(約3.8km) ◆定員を超えた場合は乗車不可 ◆小学生以下のお子様は、保護者の方の同伴が必要





グリーンスローモビリティ 周遊ルートMAP

両津港は明治元年（1868）、開港五港のひとつ新潟港の補助港として開港した重要な港！
佐渡の玄関口として栄えてきた港であり、昭和の風景が残る夷地区、
古き良き港町の風情を感じさせる湊地区をグリーンスローモビリティが走行します。



加茂湖

日本百景の一つである加茂湖は佐渡の四季を湖水に写す新潟県内最大の湖です。



夷地区 MAP左側

加茂湖の近くにあるエリア。ホテルや旅館が多く、アーケード付きの商店街があります。飲食店・カフェあり。



湊地区 MAP右側

古い町家建築が多く残り、歴史ある街並みが感じられるエリア。飲食店・カフェあり。



シータウン商店街

あいぼーと佐渡から約500m（徒歩7分）の両津港ターミナルに接続したショッピング街。お土産探しやお買い物に！

佐渡における現地実証事業と二次輸送体制の確保に向けた検討 (参考資料3)

現状・課題

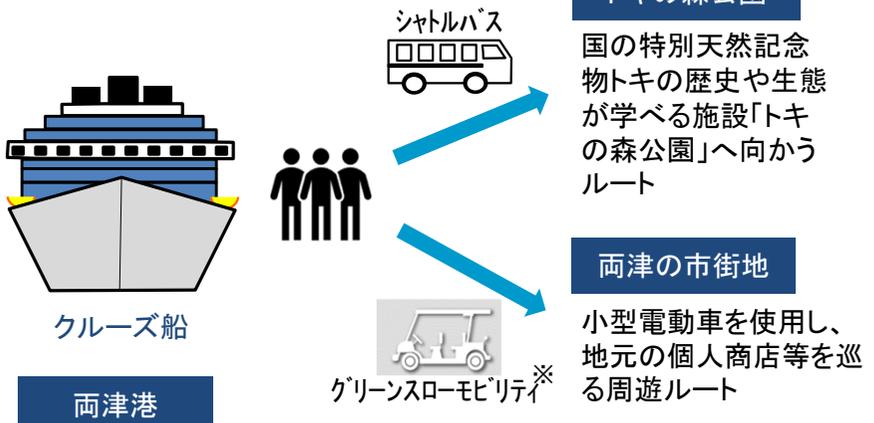
- 令和5年3月に国際クルーズの運航が本格的に再開されて以降、クルーズ船寄港時のバス等の二次交通不足により、ツアーバスの確保が困難となり、乗客の満足度低下や経済効果拡大の機会損失に繋がっている状況。
- 佐渡地域においても、令和6年7月の世界文化遺産登録を契機に、今後更なる観光客の増加が見込まれる中で、クルーズ船寄港時の二次輸送体制を確保するために、シャトルバス等の活用が期待される所。
- 離島である佐渡特有の地域特性によるクルーズ船寄港時の二次交通の改善に向けて、関係者間での情報共有等を目的とした、「佐渡クルーズ船二次交通連絡会」を設立。今年度は、北陸地方整備局が佐渡において計画している「クルーズ船寄港時におけるシャトルバス等運行の現地実証」の効果を検証し、二次輸送体制の確保に向けた検討を行う。

事業内容

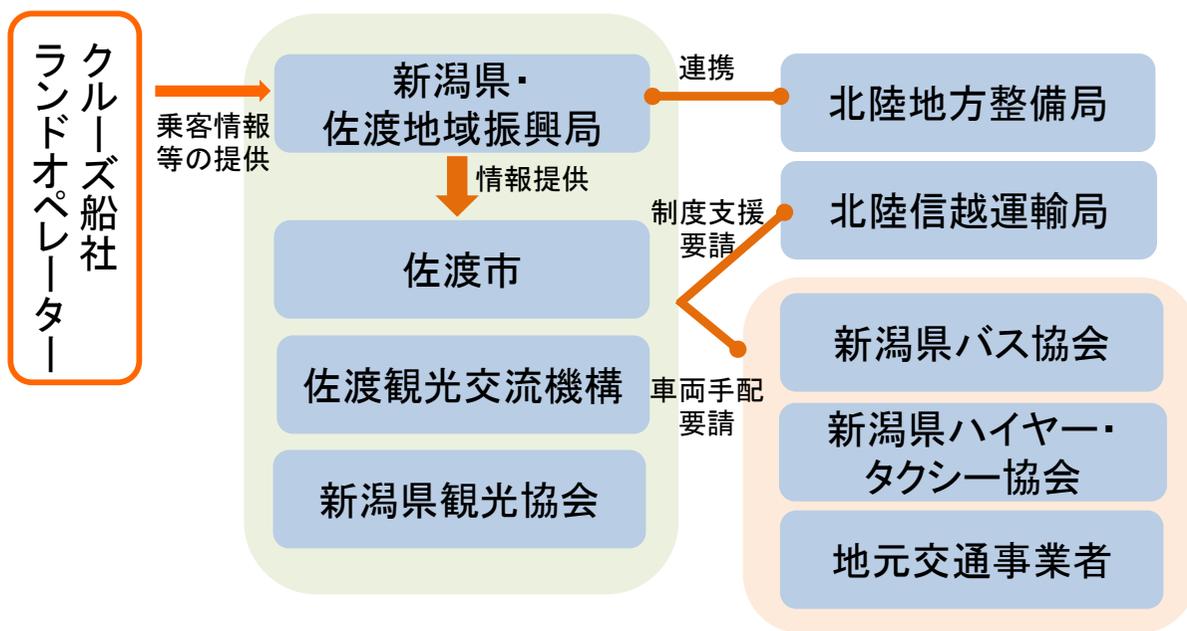
- クルーズ船寄港時におけるシャトルバス等運行の現地実証を実施し、効果的な運行の在り方を検証
- 二次交通の改善によって生じた新たな消費による経済効果について検証

第2回実証イメージ

■実施日 令和7年9月20日



連絡会イメージ



※グリーンスローモビリティ: 時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービス